様式３(2015.06改)

作成日　令和元年９月６日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374400253
事業所名	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑながしのの里

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地区の区長が協力的で地域に住む職員も多いことから、地域の情報は得やすく様々な行事に参加している。絵手紙教室や折り紙教室にも利用者が職員と共に参加し、地域に根付いたホームである。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	利用者、家族、地域代表、行政が参加し、ホームの取り組みを紹介し、参加者からは様々な提案や助言を受けている。防災は継続して議題として取り上げている。 家族は交代制で参加し、多くの家族が関わっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議や毎月来訪する生活指導員を通じて緊密に連携している。行政主催の認知症カフェでは、参加するだけでなく利用者が給仕の役割を担うようになった。市主催の会議を通じて他施設との交流も始まった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の来訪は頻回であり、職員は積極的に話しかけて意向を聞き取っている。2か月毎に開催される家族会では写真を用いて日常の様子を伝え、ホーム行事にも多くの家族が参加している。また、家族向けに「アットホームだより」が定期的に発行されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○